

# 塩害防止専用 防潮柵

## 海辺の塩害、あきらめていませんか？



海岸保全施設により、高波低減の代償として波しぶきが以前より多く発生するようになった地域があります。塩分を含んだしぶきは深刻な塩害をもたらしています。

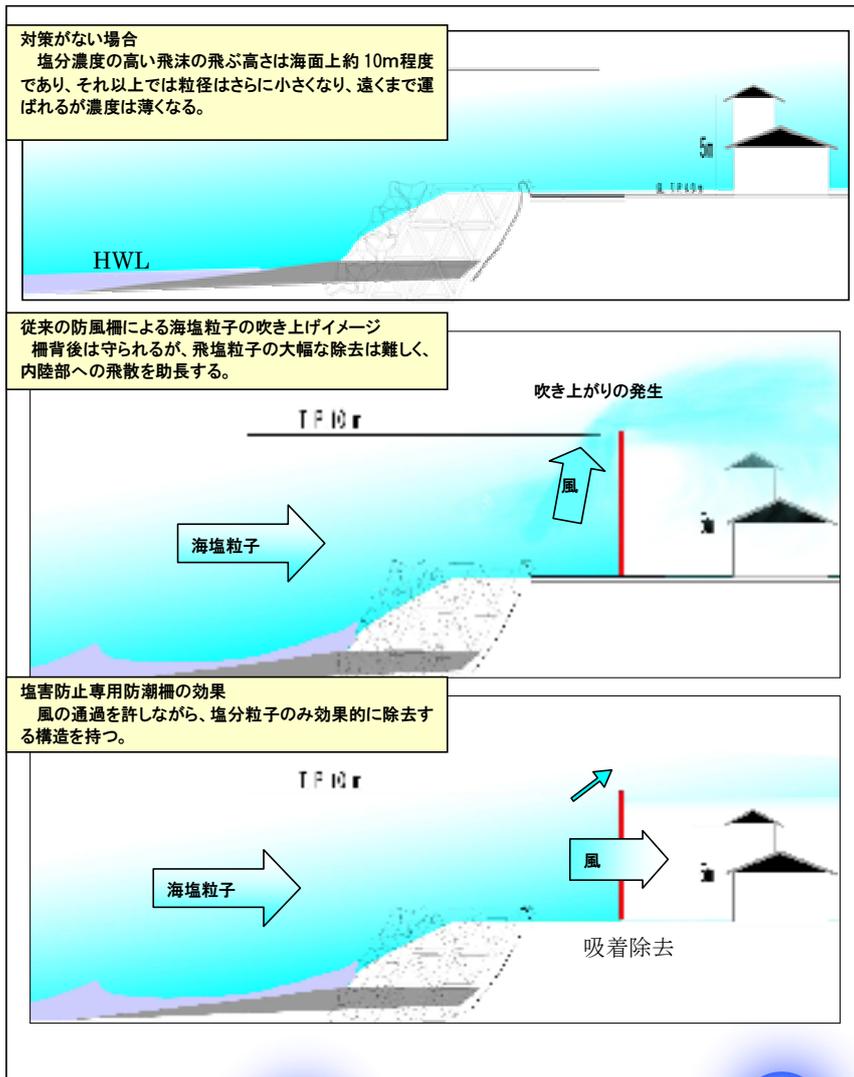


海岸背後の地域は以前から竹簾をつくるなどして塩害を防ぐ努力をしてきましたが、近年は竹材料の減少や作り手が高齢化するなど困窮しています。

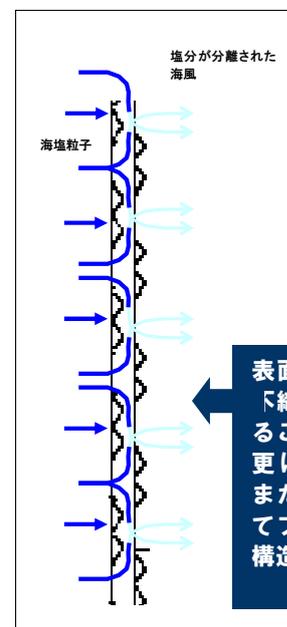
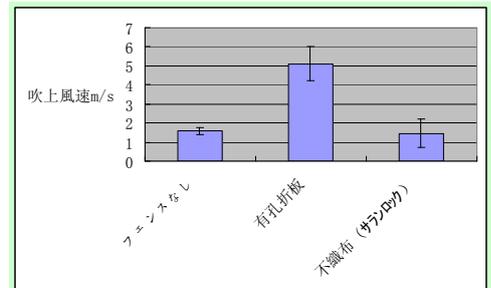


竹簾

新しい海岸保全施設として  
「塩害防止専用 防潮柵」  
を開発いたしました  
(裏ページをご覧ください)



多くの素材の中から、風洞実験により選択したのが、不織布です。この素材は耐酸、耐アルカリ、耐油性、難燃性であるのが特徴です。脱着が可能であり、洗浄もできます。



空隙率が93%と大きいので、吹き上げがほとんど起こりません

表面積と空隙率が大きい「繊維布」を効果的に配置することにより、透過性を更に高くしています。また地域の特性に合わせてフィルター材の種類と構造の調整が可能です。

通常の防風柵と違い、風を積極的に通過させる構造によって、フィルターが塩分粒子を効果的にそぎ落とします。吹き上げを大幅に抑制できます。したがってしほきを遠くまで拡散しにくくなりました。

